

事後評価調書

I 事業概要																											
事業名	農業農村整備事業（用排水施設整備事業）																										
地区名	かやづ 萱津地区																										
事業箇所	あま市、あまぐんおおほる 海部郡大治町																										
事業のあらまし	<p>本地区は、愛知県西部一級河川新川の右岸に位置し、あま市から大治町に至る平坦な農村地域である。</p> <p>地区内流域面積 227ha の排水は、一級河川新川へ排水しているが、排水施設の老朽化により機能低下するとともに、地区内の開発による流出量の増加により排水状況は著しく悪化し、豪雨時にはしばしば農地や農業施設等に湛水被害が発生し、営農に支障を来していた。</p> <p>このため、排水路及び排水機場を改修することにより、湛水被害を防止し、農業経営の安定と県民生活の安全・安心を図ることを目的として、1997 年度から用排水施設整備事業を実施し、2018 年度に完成した。</p>																										
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 機能低下した排水路・排水機場を改修し、農地及び公共施設等の湛水被害を防止する。（基準雨量 293mm/3 日、1/10 年確率降雨量） <p>【副次目標】</p> <p>—</p>																										
事業費	事業費		内訳																								
	34.1 億円		■工事費 29.5 億円、 ■用補費 2.9 億円、 ■その他 1.7 億円																								
事業期間	採択年度	1997 年度	着工年度	1997 年度	完成年度	2018 年度																					
事業内容	排水路工 4.4km、排水機場 3 機場																										
II 評価																											
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>事業完了後から 5 年間で、最大 3 日連続降雨量は 2020 年 10 月 8 日～10 日に 187.5 mm (最大 1 時間雨量 62.5 mm) を観測したが、農地及び公共施設等の湛水被害は発生していない。</p> <p>降雨実績 (名古屋観測所降雨データ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>計画</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最大 3 日連続降雨量</td> <td>293.0mm</td> <td>137.0mm</td> <td>130.5mm</td> <td>187.5mm</td> <td>161.5mm</td> <td>98.0mm</td> </tr> <tr> <td>(最大 1 時間降雨量)</td> <td>(52.1mm)</td> <td>(62.5mm)</td> <td>(24.0mm)</td> <td>(60.0mm)</td> <td>(35.5mm)</td> <td>(44.0mm)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>最大 3 日連続降雨量は計画基準雨量以下であるが、湛水被害は発生しておらず、本事業は地域の農業経営の安定と県民生活の安全・安心に寄与していると評価できる。</p>					区分	計画	2018	2019	2020	2021	2022	最大 3 日連続降雨量	293.0mm	137.0mm	130.5mm	187.5mm	161.5mm	98.0mm	(最大 1 時間降雨量)	(52.1mm)	(62.5mm)	(24.0mm)	(60.0mm)	(35.5mm)	(44.0mm)
	区分	計画	2018	2019	2020	2021	2022																				
最大 3 日連続降雨量	293.0mm	137.0mm	130.5mm	187.5mm	161.5mm	98.0mm																					
(最大 1 時間降雨量)	(52.1mm)	(62.5mm)	(24.0mm)	(60.0mm)	(35.5mm)	(44.0mm)																					
2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>—</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>—</p>																										

②事業効果の発現状況

【費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化】

項目		再評価時（2回目） （2012）	実績 （2022）	備考	
事業期間		1997～2017 （21年間）	1997～2018 （22年間）		
事業費 （億円）	工事費	25.6	29.5		
	用地補償費	3.6	2.9		
	その他	4.1	1.7		
	合計	33.3	34.1	0.8億増	
効果の 算定要因	排水	流域面積	226.6ha	226.6ha	増減なし
		農地面積	63.9ha	52.6ha	11.3ha減
		宅地等面積	162.7ha	174.0ha	11.3ha増

【事業期間に対する評価】

排水機場付帯工の施工にあたり地元との調整を要したため事業期間を1年間延長したが、計画期間内に本体工事は完了していたため、期間延長による影響はなかった。

【事業費に対する評価】

事業費は、労務資材費の値上がりにより0.8億増で事業完了した。

【効果の算定要因に対する評価】

再評価時（2回目）と比較して農地面積は減少しているものの、流域面積に増減はない。

排水路・排水機場の整備により湛水被害は発生しておらず、概ね計画どおり発現していると評価できる。

③事業実施による環境の変化

工事施工あたり、低振動、低騒音も作業機械を使用するなど、周辺環境に考慮したことから、自然環境や生活環境への影響を最小限に抑えることができた。

III 対応方針（案）

今後の事後評価の必要性

主要目標が概ね計画通り達成されているため、今後の事後評価は不要である。

改善措置の必要性

主要目標が概ね計画通り達成されているため、改善措置等は不要である。

同種事業に反映すべき事項

更新整備を行う場合は、既設の施設を活かしながら施工するなど、事業実施中においても湛水被害防止に配慮する。

IV 事業評価監視委員会の意見

萱津地区の対応方針（案）[改善措置等必要なし]を了承する。

V 対応方針

改善措置等必要なし。